

市町村における地域包括ケアシステム構築のプロセス(概念図)

地域の課題の把握と
社会資源の発掘

地域の関係者による
対応策の検討

対応策の
決定・実行

日常生活圏域ニーズ調査 等

介護保険事業計画の策定のため日常生活圏域ニーズ調査を実施し、地域の実態を把握

地域ケア会議の実施

地域包括支援センター等で個別事例の検討を通じ地域のニーズや社会資源を把握

※ 地域包括支援センターでは総合相談も実施。

医療・介護情報の 「見える化」 (随時)

他市町村との比較検討

量的・質的分析

課題

- 高齢者のニーズ
- 住民・地域の課題
- 社会資源の課題
 - ・ 介護
 - ・ 医療
 - ・ 住まい
 - ・ 予防
 - ・ 生活支援
- 支援者の課題
 - ・ 専門職の数、資質
 - ・ 連携、ネットワーク

社会資源

- 地域資源の発掘
- 地域リーダー発掘
- 住民互助の発掘

事業化・施策化協議

介護保険事業計画の策定等

- 都道府県との連携
(医療・居住等)
- 関連計画との調整
 - ・ 医療計画
 - ・ 居住安定確保計画
 - ・ 市町村の関連計画 等
- 住民参画
 - ・ 住民会議、セミナー
 - ・ パブリックコメント等
- 関連施策との調整
 - ・ 障害、児童、難病施策等の調整

地域ケア会議 等

- 地域課題の共有
 - ・ 保健、医療、福祉、地域の関係者等の協働による個別支援の充実
 - ・ 地域の共通課題や好取組の共有
- 年間事業計画への反映

具体策の検討

- 介護サービス
 - ・ 地域ニーズに応じた在宅サービスや施設のバランスのとれた基盤整備
 - ・ 将来の高齢化や利用者数見通しに基づく必要量
- 医療・介護連携
 - ・ 地域包括支援センターの体制整備(在宅医療・介護の連携)
 - ・ 医療関係団体等との連携
- 住まい
 - ・ サービス付き高齢者向け住宅等の整備
 - ・ 住宅施策と連携した居住確保
- 生活支援/介護予防
 - ・ 自助(民間活力)、互助(ボランティア)等による実施
 - ・ 社会参加の促進による介護予防
 - ・ 地域の実情に応じた事業実施
- 人材育成[都道府県が主体]
 - ・ 専門職の資質向上
 - ・ 介護職の処遇改善

地域包括ケアシステム構築に向けた 在宅医療への期待

➤ 多職種協働によるチームケア

高齢者のQOL向上と自立を支援するための、多職種協働によるケアマネジメント支援

➤ 退院時連携

急性期医療から在宅療養へのシームレスな支援

➤ 重度要介護者等への訪問診療等

重度要介護者の生活の場の多様化に伴う、適切な医療の提供

➤ 在宅看取りへの対応

在宅看取りの選択を尊重できる体制整備

地域包括ケアシステムの実現に向けた市町村への期待

1. 多職種協働による地域支援ネットワークの形成

- ・医療、介護、福祉のみならず、多様な人材や機関との連携強化
- ・専門職の効果的な活用とチームアプローチの推進

2. 予防的視点と公的サービスの中立公正な分配

- ・介護保険法2条、4条の遵守
- ・早期発見・重度化予防と自助、互助、共助、公助の資源を効果的に活用

3. 地域診断に基づくニーズと供給体制の一体的把握

- ・住民ニーズの量的・質的データ分析、地域住民との情報共有
- ・介護保険事業計画と医療計画の関連づけによる施策展開

4. インフォーマルな社会資源の開発

- ・住民主体の活動を支援する地区組織活動の強化
- ・インフォーマルサービスを支える継続的な関わり

5. 地域包括支援センターの機能強化

- ・委託業務の丸投げではなく、保険者としての運営方針や目標を示すこと
- ・事業のアウトカム評価と成果の共有、PDCAサイクル

6. 個別支援から地域ケア体制の構築に向けた視点

- ・個をないがしろにしない、ただし個に埋没しない
- ・個から地域へと俯瞰的な視点を持ち、好事例を点から面に展開

地域ケア会議は
重要なツール

これからの高齢者施策

個人支援の充実と
地域支援(まちづくり)
の両輪が必要

- 健康寿命の延伸と元気高齢者の社会参加への支援
- 病気や要介護状態になっても安心して暮らせるケアの提供

上記を実現するための社会基盤整備
(わが市区町村の医療・介護体制のビジョンを持つ)

- 介護保険・医療保険の枠組みだけでは解決できない
- 組織横断的な取組への意識改革が必要

保健・医療
部門

財政部門

市長村長
政策部門

土木・交通
部門

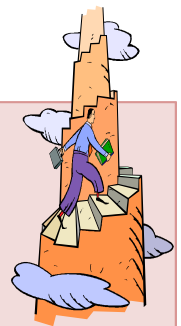
介護・障害
福祉部門

まちづくり
部門

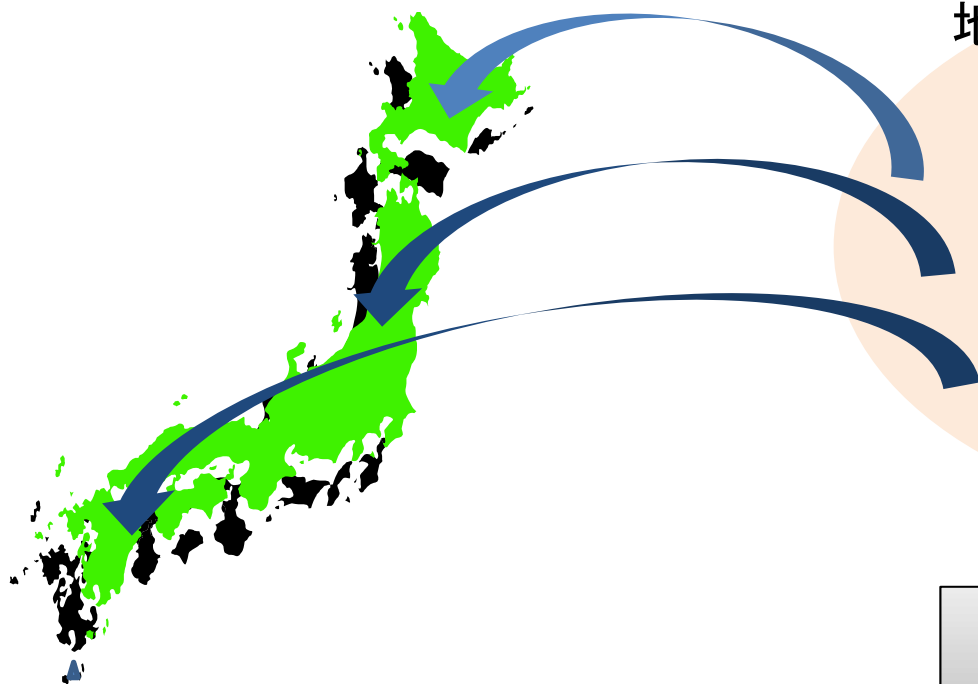
生涯教育
部門

農政・経済
部門

施策化・事業化の推進には
行政職員の**チームワーク**と**リレー**が大切



地域の特性を踏まえた地域包括ケアシステムの構築



地域ごとに高齢者を取りまく状況や抱える課題は異なる

- 人口規模、人口構成
- 高齢化率、要介護認定率
- 認知症者数
- 都市部、地方部、農村部
- 文化、気候、風土、産業、交通
- 医療・介護等に係る地域資源

これに対応したサービス提供体制や社会基盤のあり方は様々

市町村が中心となって地域の特性を踏まえた、地域包括ケアシステムを構築していくことが必要

都道府県においても積極的に市町村を支援
(人員の派遣、研修、情報共有等)

支援